

和名埴輪窯跡群(比企郡吉見町)

わみょうはにわかまあとぐん

和名沼/この右手が和名埴輪窯跡群



正面の斜面一帯が和名埴輪窯跡群











和名埴輪窯跡群

古くから、ここ和名沼の北側斜面一帯は、多くの埴輪が発見されることで知られていました。昭和四十九年に行われた発掘調査では四基の埴輪を焼いた登り窯の跡が見つかっていました。昭和六十二年にはさらに一基の窯跡があることが確かめられ、そのままこの場所に遺されています。これら以外にもたくさん登り窯跡があると考えられており、県内有数の埴輪窯跡群のひとつです。

埴輪は、今からおよそ一六〇〇年前から一二〇〇年前頃まで続いた古墳時代の豪族の墓である古墳の廻りに設置されたものです。

ここで焼かれた埴輪には、人物、馬などの形象埴輪や円筒埴輪があり、近くの久米田古墳群をはじめとする吉見丘陵や、岩鼻古墳群などの松山台地上に造られた多くの古墳に設置するために生産されたと考えられます。

昭和六十二年六月

吉見町教育委員会



前方の斜面一帯が和名埴輪窯跡群







参考ホームページ

http://www.town.yoshimi.saitama.jp/guide_wana-haniwa.html

<http://www.musashigaku.jp/newpage46.htm>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/e282d1beb6d0f79b94ca40a0309cbdc7>





